【総括表】

用途	こども園（支援センター）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	志賀子どもつどいの広場	志賀町	大規模修繕	
2	柳川瀬子どもつどいの広場	畝部東町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、育児に関する相談への対応や親子で参加できる催しなどを開催する施設であるため、老朽化などへの対策が必要である。対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	志賀子どもつどいの広場

1　施設の概要

所在地	志賀町	延床面積	1,076.34 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
子育て支援施設	RC 造	1973	980.74	2 階	
子育て支援施設	RC 造	1979	79.2	1 階	
子育て支援施設	S 造	2008	16.4	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はない。屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。

☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減 ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	柳川瀬子どもつどいの広場

1　施設の概要

所在地	畝部東町	延床面積	509.49 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1975	498.96	1 階	
倉庫	LWS 造	1989	10.53	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４６年が経過している。２０１１年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、劣化が進みつつある。一部屋根や外壁に発錆やひび割れが見られるため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減 ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。